



# 2024 学校案内

SCHOOL GUIDE 2024



静岡県立浜松北高等学校



## スクール・ミッション

「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等の全教育活動を通して、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す。

## 沿革

明治 27 年	4月17日	敷知・浜名・長上3郡、浜松町組合立として現在の浜松市元町に設立、静岡県尋常中学校浜松分校と称した
大正 13 年	4月 1日	静岡県立浜松第一中学校と改称
昭和 3 年	8月	全国中学校水泳大会初優勝(昭和3年～5年連続優勝)
昭和 7 年	8月	ロサンゼルスオリンピック大会にて宮崎康二(4年)100m自由形、58秒2のオリンピック新記録で優勝、800mリレーに8分58秒4の世界新で優勝
昭和 24 年	4月 1日	静岡県立浜松北高等学校と改称
昭和 28 年	3月	第25回全国選抜高校野球大会に出場
昭和 44 年	3月	第41回全国選抜高校野球大会に出場
平成 元 年	11月10日	新校舎落成(鉄筋コンクリート5階建)
平成 3 年	4月 1日	国際科1学級を設置
平成 6 年	8月31日	100周年記念資料館竣工
	10月15日	アクティビティ大ホールにて創立100周年記念式典を挙行
平成 14 年	7月27日	第24回全国高校小倉百人一首かるた選手権大会団体優勝
平成 16 年	11月13日	創立110周年記念新部室落成式挙行
平成 20 年	5月12日	国際学生科学技術博覧会(世界大会)企業・学会推薦特別賞(地学部)
平成 24 年	7月	数学オリンピックアルゼンチン大会に林興養が出場
平成 26 年	7月13日	第25回国際生物学オリンピックで那須田桂が金メダルを受賞
平成 26 年	11月24日	創立120周年記念式典挙行
平成 28 年	3月	テニスコート5面、陸上短距離用4コースの全天候対応竣工
令和 4 年	3月21日	第33回全国高等学校選抜ボート大会女子シングルスカルで高橋莉子が優勝
	8月14日	全国高等学校総合体育大会ボート競技女子シングルスカルで高橋莉子が優勝

## 普通科

令和7年度生  
授業科目(予定)



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	第1学年																															
	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学A	数学II	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術I	英語コミュニケーションI	論理・表現I	数学II/英語II	情報I	蜻蛉															
	第2学年																															
理系	論理国語	文学国語	古典探究	公共	数学II	数学III	数学B	数学C	化学基礎 地学基礎	化学 地学	物理 生物	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	数学II/英語II	家庭基礎	蜻蛉														
文系	論理国語	文学国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	公共	数学II	数学B	数学C	化学基礎 地学基礎	体育	保健	芸術II	英語コミュニケーションII	論理・表現II	数学II/英語II	家庭基礎	蜻蛉														
	第3学年																															
理系	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 政治・経済	公共 演習	数学II/III 演習	数学III 演習	化学 地学	物理 生物	体育	英語コミュニケーションIII 演習	論理・表現II	蜻蛉																			
文系	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	倫理	数学II/III 演習	物理基礎演習 生物基礎演習	化学基礎演習 地学基礎演習	体育	英語コミュニケーションIII 演習	論理・表現II	蜻蛉																			

## 国際科

令和7年度生  
授業科目(予定)



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
	第1学年																																		
	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学A	数学II	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術I	総合英語I	数学II/総合英II	情報I	蜻蛉	異文化コミュニケーション演習																		
	第2学年																																		
理系	論理国語	文学国語	古典探究	公共	数学II	数学III	数学B	数学C	化学基礎 地学基礎	化学 地学	物理 生物	体育	保健	総合英語II	数学II/総合英II	家庭基礎	蜻蛉																		
文系	論理国語	文学国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	公共	数学II	数学B	数学C	化学基礎 地学基礎	体育	保健	芸術II	総合英語II	数学II/総合英II	家庭基礎	蜻蛉																		
	第3学年																																		
理系	論理国語	文学国語	古典探究	政治・経済	数学II/III 演習	数学III 演習	化学 地学	物理 生物	体育	フランス語 スペイン語 中国語	総合英語III	蜻蛉																							
文系	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	総合英語III 演習	数学II/III 演習	物理基礎演習 生物基礎演習	化学基礎演習 地学基礎演習	体育	フランス語 スペイン語 中国語	総合英語III	蜻蛉																						

◆色つきの科目は専門科目

## 普通科在校生からのメッセージ



34HR 山口珠央  
(光が丘中出身)

「きつと勉強ばかりしているのだろう。」これは、私が入学前に持っていた北高のイメージです。しかし、このイメージは入学して早々に打ち砕かれました。

入学式後、初めての登校日。対面式で突如として始まったのは「ブロック抽選会」。一体何が起きているのか、そもそもブロックが何なのかさえ分からないまま、先輩方がくじを引く度に湧き上がる歓声に、ただひたすら驚かされていました。このとき私は悟りました。「とんでもない学校に来てしまった」と。

そうしてスタートした北高生活は、本当に目まぐるしいものでした。中間テスト、学校祭、期末テスト、合唱大会、うどんどう会…。三大行事のある「動の時期」が終われば、テストが集中する「静の時期」がやってきます。そして二年生に進級、気づけば最高学年の三年生に…。

「忙しすぎる」と思った方もいるかもしれませんが、このような疾走感満載の毎日はとても充実しています。まず第一に、恵まれた学習環境があります。授業は進度も速く内容も高度ですが、各教科担当の先生が丁寧に指導をしてくれます。中学校のときよりも、はるかに深く専門的な学びは、視野を広げ多様な考え方を持つことに繋がっていると感じます。そして、生徒主体で運営される北高の三大行事。ここには北高生が活躍できる場所がそこかしこに転がっています。クラスやブロックの幹部として全体を動かすもよし、作業や練習に貢献するもよし、学校行事の運営委員や生徒会の一員として学校全体を支えるもよし。行動を起こせば、今まで経験したこともない世界に出会い、いくらかでも自分の力を高めることができます。そこが北高の大きな魅力です。そして何より、北高生の存在こそが、学校生活を充実させる最大の要素だと思います。早くから夢や目標を決め、地道に努力を積み重ねる同級生や志の高い友人、部活動と学業を両立し成果を残している先輩など、周りの北高生は自身の目標になるような人ばかりです。こうした環境に身を置くことで刺激を受け、自分も頑張りたいという気持ちが自然と湧いてきます。

「自分にそんな才能はない」、「果たして自分は北高でやっていけるのか」。そう思う人もいることでしょう。ですが、北高生の多くは何か特別な才能に恵まれているわけではありません。地道な努力を積み重ね、今の自分をつくってきたのです。「北高で頑張っていきたい」。その意志さえあれば、北高で「何者か」になることができます。時には、劣等感や羨ましく思う気持ちを味わうこともあるかもしれませんが、しかし、このような感情を乗り越えたとき、目の前に広がる世界は全く違ったものに見えるはず。羨望や妬み嫉みといった感情を持つこと自体、意味がないし、つまらない。むしろ、周囲の頑張りを手本にして、何か自分もやってみよう。そうして心の底から尊敬する仲間と共に学び合い、成長することができる。この学校ほど自己を高めるのに恵まれた環境はありません。

北高で得られる経験、仲間、人間的成長…。これらは他では得ることができない、何ものにも代えがたい財産です。私はこの浜松北高に通うことができ本当に良かったと思っています。



21HR 小杉悠輔  
(静大附属浜松中出身)

浜松北高校で大切にされている言葉に「北高生は二兎も三兎も追え」というものがあります。これは、志を高くもって様々なことに挑戦しようという意味です。しかし、この言葉は生徒に努力を押し付けるためのものではありません。「自分がやりたいと思ったことは全部やっつけ、きつと面白いから。」二兎も三兎も追うことの本質は、このような「自由」にこそあるのだと思います。自由さのもとで、僕たちはそれぞれの個性を発見・発揮し、それらを尊重し合いながら毎日の活動に取り組んでいます。そこから生まれるのが、生徒の主体的な挑戦です。

学習や部活動での日々の努力、そして学校行事での創造的な活動。校外活動も活発で、読書や芸術などの趣味を究めようとする人もたくさんいます。浜松北高校には、誰もがどんなことでも挑戦できる環境があります。しかしそれは、関心のあることだけを行い、自分の可能性を限定してしまうことは違います。特定のことに専念するのではなく、たくさんの仲間と様々な活動に取り組み、その中で自分らしく可能性を広げていくのが、この学校の生徒の特徴です。まさにやりたいことを全部やり、二兎も三兎も追うのが北高生なのです。例えば行事の準備期間には、授業も部活動も並行して行われる中でクラスの全員が準備に参加し、自分にしかできない仕事を見つけ、それぞれの立場からより良い作品を作るための意見を出し合います。もちろん大変ではありますが、重要なのはそれが何よりも「楽しい」ということです。どれだけ難しく見えても、やりたいと思ったらやってみよう。やってみよう友達を応援すること。そして時には、みんなで盛り上がる。そうやって北高生は、新しい楽しさを日々つくり出し続けています。

浜松北高校の活動はレベルが高い、と言われることがあるとすれば、その理由はこのことにほかなりません。この学校では生徒全員が個性を活かしてたくさんの方に挑戦し、すべての活動を全力で楽しんでいるのです。そのような学校生活はきつと、未来を生き抜くための財産になるはず。

浜松北高校は、そんな学校です。自由さの中で個性を発揮し、挑戦し、自分の世界を広げてみませんか。最高の仲間と先生方、そして楽しさが、あなたを待っています。



18HR 河村晋太郎  
(佐鳴台中出身)

浜松北高校は校則が少ないことが大きな特徴です。授業前後のチャイムもありません。自由で縛られない環境だと言えますが、服装が乱れている人やスマートフォンを授業中に勝手に使っている人は見かけません。自由の多い環境では、自分で考え、自分で行動することが大切です。生徒たちは志を立て、それを達成するための努力をしています。

「北高＝勉強だけ」と、不安に思っている方もいるかもしれません。実際のところ入学前、私は、勉強が北高生活のほとんどで、楽しいことがないかもしれないと不安でした。しかし実際は、学校祭・合唱大会・うどんどう会の順に続く賑やかな行事が北高の醍醐味です。企画から生徒自らの手で作り上げる行事には、大きな盛り上がりや成長があるでしょう。先輩方の行事に向けた熱意を感じ、私もこれから参加するこれらの三大行事に大きな期待を寄せています。

北高の部活動は運動部・文化部合わせて30種類を超えています。各々が目標を持ち全力を注いでいて、部の一つ一つが魅力に満ちています。

もちろん、勉強にも手を抜かないのが北高生。「厳しく、楽しく」という精神があり、授業や試験のために勉強は予習復習を怠らず、行事では全力で仲間と協力をしながら青春を謳歌する。高校生活の理想と呼べる形が北高にあります。

浜松北高校は、共に学び、切磋琢磨できる仲間たち、後ろから支えてくださる先生方がいます。自分の目標に近づき、社会で役立つ能力を伸ばす環境が整っています。そんな北高の門をみなさんがくぐる日を待っています。

## 国際科在校生からのメッセージ



国際科3年  
39HR 河邊翔太郎  
(新居中出身)

浜松北高国際科について、皆さんはどんな印象を持っていますか。私は中学校時代、英語を得意にしたいから、話せるようになりたいから、国際科の方が楽しそうだから、などという漠然とした理由だけで、あまり深く考えることなく国際科を選びました。しかし、実際に入学してみると、予想をはるかに超える素晴らしい経験が待っていました。

国際科には、1年生の2月～3月にニュージーランド研修というものがあります。約3週間ニュージーランドに滞在し、平日は現地の学校でバディ(私たちのサポートしてくれる現地の高校生のこと)とともに現地の学校生活を体験し、放課後や休日はホストファミリーと過ごします。われわれ国際科の生徒にとって、貴重な経験ができる忘れることのできない大切な行事です。しかし、国際科の特徴はニュージーランド研修だけではなく、外国人留学生との交流、地元の小学生に向けた英語の授業など、普通の高校には絶対にできない経験を行うことができます。また、クラスメイトには留学経験のある人や海外帰国生など、さまざまなバックグラウンドを持つ人も多く、そんな人たちと過ごす3年間の学校生活は、日々新しい発見ばかりです。これら北高国際科ならではの経験は、必ず皆さんを成長させてくれるでしょう。そして、高校生という多感な時期に、このように多様な価値観に触れることは、その後の人生にも大きな影響を与えるに違いありません。

進学先も東大に行く人や医学部に進学する人、海外の大学に進む人など様々です。現代社会に巣食う、沢山の当たり前や常識に囲まれながら、このように多様な進路を選択することは簡単ではありません。例えば、工業を学びたい人は工業科、商業がしたい人は商業科、進学したい人は普通科、特進科など、同じ希望を持つ同じくらいの学力の人たちの中で過ごすのが、普通の高校生活ではないでしょうか。しかし、国際科は違います。それぞれが異なる価値観、考え、目標を持っています。そんな多様で多彩な仲間との生活は、入学式から卒業式まで、皆さんのその後の人生を揺さぶる、想像以上に面白い発見で溢れています。

是非皆さんも、浜松北高国際科に入って、最高級のも多様性を経験してみませんか？

# 国際科の教育の特色

- 1.各学年で専門科目を学び、広い視野を身につけ、本国及び国際理解を深めます。
- 2.語学教育とグループ活動を通じ、豊かなコミュニケーション能力を身につけます。
- 3.授業や行事の様々な場面で、メディアリテラシーを磨き、国際的な舞台上で発信する力を養います。
- 4.専門科目を中心に、小集団授業を実施し、個々の生徒に応じた指導を行います。
- 5.普通科と共通の学校行事に加え、下に紹介するような独自の行事があります。

## 国際科の3年間



### イングリッシュデイ

2年生の校外学修の体験発表を聞き事前学習を開始します。また、「英語の日」として英語運用能力向上の基礎固めをします。

1年

### 校外学修

英語によるコミュニケーションの実践と異文化体験をします。希望制ではなく、全員参加の必修授業です。

### 1.プログラムの内容(例)

- (1)国内プログラム  
オールイングリッシュでのリサーチ活動と研究発表。
- (2)ニュージーランドプログラム
  - (i)現地高校の授業に参加  
現地の高校生とともに授業を受け、学校行事に参加。
  - (ii)ホームステイ  
1家庭に本校生徒1人または2人のホームステイ。週末もホストファミリーと共に過ごし、現地の生活を体験。

### 2.経費

約80万円

### 3.実施時期

- (1)国内プログラム  
1年次の1月下旬から2月上旬の約1週間
- (2)ニュージーランドプログラム  
1年次の2月下旬から3月中旬の約3週間



▲校外学修(ニュージーランドプログラム)



▲校外学修(国内プログラム)

### イングリッシュデイ

学校生活や校外学修を英語によるプレゼンテーションの形で発表。



▲イングリッシュデイ

2年

### オクトーバープロジェクト

校外学修の経験を活かした実践的な活動を行う。小学校での英語授業、国際協力機構(JICA)訪問、留学生との交流、伝統文化の体験などの4日間の研修。



▲オクトーバープロジェクト



▲オクトーバープロジェクト

### 進路実現

3年

文系、理系を問わず、国公立・私立大学のすべての学部への進学に対応した授業編成

## 卒業生からのメッセージ



東京外国語大学[国際社会学部]進学

木戸瑞己 [天竜中出身]

「国際科」とはどんな学科なのでしょう。楽しそう!面白そう!と思う人もいれば、英語が出来ないとむずかしいのかな…と不安に思う人もいると思います。

普通科同様の授業に加えて、国内プログラムやニュージーランド研修、オクトーバープロジェクトなどの国際科独自のプログラムを多数行うため、大変でないとは言えません。しかし、どのプログラムも貴重な経験であり、プログラムを通して小学生や留学生、ニュージーランドの人々などの多種多様な人と触れ合うことで、自分の価値観や視点を広げる機会となります。

また、国際科で学べる言語は英語に限らず、3年次にはフランス語、スペイン語、中国語の3つのうちから選んだ授業を受けることができます。

国際科にはとても個性が豊かなメンバーがいて、仲が良く、雰囲気が温かいです。陽気な人にとっても、物静かな人にとっても居心地がいい場所です。3年間で共に過ごし、プログラムや行事などに熱く取り組む中で、互いを尊重し合い、応援し合う強い絆のあるクラスになっていきます。進路についても、国内の大学や海外の学校、専門学校など様々です。国際科は、それぞれが好きなこと、やりたいことに夢中になり、自分らしくいることができる場所です。

ここでしか出会えない人々、機会がある浜松北高国際科で、あなたの高校生活を充実させてみませんか。

# 令和6年3月卒業生の進路状況(普通科・国際科)

## 卒業後の進路

R6. 4. 1現在

卒業生徒数	進 学 者						専修学校	留 学	その他	進学準備
	四年制大学			短期大学						
	国立	公立	私立	国立	公立	私立				
355	150	16	63	0	0	0	4	1	1	120

## 大学合格者数 ( )内は新卒の内数

国立大学			私立大学			南 山			
北海道	16 (7)	大 阪	11 (8)	国際医療福祉	4 (1)	名 城	8 (6)		
東 北	9 (7)	神 戸	10 (8)	青山学院	14 (11)	同 志 社	81 (52)		
筑 波	1 (1)	広 島	4 (3)	学 習 院	4 (1)	立 命 館	111 (56)		
千 葉	6 (6)	九 州	8 (4)	北 里	6 (4)	関 西 学 院	11 (4)		
お茶の水女子	2 (0)	そ の 他	42 (21)	慶 應 義 塾	33 (18)	関 西 学 院	18 (14)		
東 京	16 (12)	計	246 (159)	駒 澤	3 (3)	そ の 他	228 (119)		
東京外国語	3 (3)	公立大学			順 天 堂	3 (1)	4年制大学 合格者総数	1099 (635)	
東京学芸	1 (1)	東京都立	4 (4)	上 智	23 (19)	計			820 (457)
東京工業	4 (3)	静岡県立	7 (2)	中 央	35 (16)	4年制大学 合格者総数			1099 (635)
一 橋	1 (0)	名古屋市立	4 (3)	津 田 塾	2 (1)				
横浜国立	8 (6)	京都府立	3 (2)	東 京 理 科	47 (16)				
金 沢	3 (1)	大阪公立	7 (4)	法 政	16 (10)				
静 岡	25 (19)	そ の 他	8 (4)	明 治	65 (33)				
浜 松 医 科	22 (12)	計	33 (19)	立 教	27 (19)				
名 古 屋	32 (25)	国公立医学科	43 (24)	早 稲 田	55 (37)				
名 古 屋 工 業	6 (4)			藤 田 医 科	16 (8)				

※国公立医学科には防衛医科大学校医学科1名含む  
※海外大学合格者数は1名

## 国際科大学過去5カ年の現役合格者数 ( )内は令和6年3月卒業生の内数

国立大学		私立大学		海外の大学	
千 葉	2	神 戸 外 国 語	5	明 治	13 (1)
東 京	2	大 阪	4	名 古 屋 市 立	2
東京外語	3 (1)	奈 良 女 子	2 (1)	京 都 府 立	1 (1)
東京学芸	1	神 戸	2	宮 城	1
東京海洋	1 (1)	広 島	1	私 立 大 学	南 山
東京農工	1 (1)	九 州	1 (1)	青 山 学 院	7
静岡	7 (3)	公立大学		慶 應 義 塾	6
浜 松 医 科	4	東京都立	2 (1)	上 智	5 (1)
名古屋	5 (1)	横 浜 市 立	2	中 央	8 (1)
信 州	1 (1)	国 際 教 養	1	津 田 塾	12
岐 阜	2 (2)	静 岡 県 立	3	東 京 理 科	4
三 重	1	静 岡 文 化 芸 術	3	東 京 女 子	3
		愛 知 県 立 芸 術	1	法 政	14
				アークソール立大学	2 (1)



名古屋大学[医学部医学科]進学

横田彩名 [附属浜松中出身]

北高での学び方は全て各個人に委ねられており、何にどれくらい注力するかは自分次第です。だからこそ私は「やれる時にやりたいことをやるだけやること、そのための準備を怠らないこと」を、北高をめざす皆さんに意識していただきたいです。1、2年生のうちに自ら挑戦する機会をどれだけ意識的に作り出せるかが、自分の考え方や将来の目標をより自分らしく発展させるための鍵を握ると私は思います。具体的に述べると、今自分の進路希望が定まっていなくても、校内校外、文系理系を問わず、参加資格のある活動には1年生のうちから積極的に情報を集めて参加すべきです。選挙スピーチを考えたり、必要な書類を書いたりするなどの準備段階では、否応なく自分のことを分析する必要に迫られ、それだけでも十分価値があります。もちろん準備の延長として実際に活動したり、準備中に気になったことを追究したりするなど、更なる行動を起こせたら最高です。私は2年生の時にある大学の理系高校生向けプログラムに挑戦したことを機に、自分の目標がより具体的に現実的なものとなりました。ですが当然、受け身の姿勢で待っているだけでは、成長の機会をみすみす逃すことになります。とにかく先手を打って、かける時間と労力を惜しむことなく自分が張るアンテナの数を増やし、どうか身の回りに溢れている成長のチャンスを見逃さないでください。まずは手始めに今この瞬間から、自分が高校生の間に挑戦したいことを考え、計画を立ててみてはいかがでしょうか。



東京大学[文科Ⅱ類]進学

大石浩哉 [湖東中出身]

浜松北高校では、自主独立という言葉がよく使われます。生徒の自主性を象徴する意味で使われ、卒業するまでに何度も耳にしました。三年間を振り返ってみると、様々な形で自主性を発揮する友人に触発され、自分も挑戦の機会を多く得ました。

北高では、部活動や行事、生徒会などの校内での挑戦のみならず、科学の甲子園や模擬裁判選手権、名大 MIRAI などの校外でのプロジェクトに参加する生徒も多くいます。このように周囲の生徒がチャレンジすることに刺激を受けて、自分も生徒会執行委員長に立候補し、一年間務めました。一年間を通して、異なる立場の人たちとの協力や意見の食い違いの中で円滑に生徒会活動を行おうとした経験は、生徒に自主性をゆだねられた北高ならではのものです。他では得られないものだと思います。学校祭やうんどう会でも生徒の裁量に任せられている部分は大きく、これらの行事には自分たちで作上げたという達成感が伴い、終わった後には心地よい疲労感に包まれます。

入学前、漠然としたイメージから、レベルの高い人ばかりで自分の出る幕などないのではないかと考えていました。北高を志望する皆さんの中にも同じような不安を抱いているかもしれませんが、周りに挑戦する人がいるからこそ自分も積極的になることができます。北高の魅力は、こうして目の前のチャンスを掴んで成長する機会が多くあることだと思います。

# 部活動

普通科・国際科共通

## 運動部

剣道	サッカー
陸上競技	バスケットボール(男・女)
柔道	卓球
洋弓	テニス(男・女)
バレーボール(男・女)	山岳
水泳	漕艇
硬式野球	空手

## 文化部

英語ディベート	芸術
新聞	・写真班
音楽鑑賞	・美術班
吹奏楽	・書道班
合唱	自然科学
軽音楽	・物理・化学班
演劇	・生物班
茶華道	・地学班
百人一首	・数学班
放送	囲碁・将棋
	・囲碁班
	・将棋班

部活動については、今後変更することもあります。



# 北高の四季

◆行事予定は途中で変更になることもあります。



## 入学式

入試を乗り越え、  
喜びの門をくぐる

4  
April

## 遠足・ X-LHR

新クラスの融和をはかる

5  
May

## 学校祭

並外れた企画力と団結力が作り出す展示物は圧巻



6  
June

## 合唱大会

レベルの高い合唱の競演その歌声は観衆を幸福に包み込む



7  
July

## 特別講義

各界で一流の講師を招く北高ならではの行事



8  
August

9  
September

## 運動会

3年生を中心に、ショータイムとデコレーションでアピール



10  
October

11  
November

## 長距離走大会

小笠山運動公園内を走り  
エコパスタジアムでゴールする



12  
December

1  
January

2  
February

## 校外学修(国際科)

国内及びニュージーランドにて  
約一ヶ月間、現地の文化を学び、  
語学を磨く

## 卒業式



3  
March

## 修学旅行(普通科)

目的地の調査を通して各地の歴史や文化に触れる



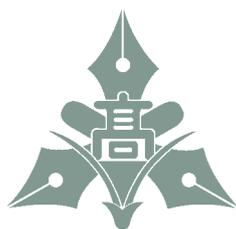
沖縄コース



関西コース



北海道コース



## 静岡県立浜松北高等学校

〒432-8013 浜松市中央区広沢1丁目30-1  
TEL.(053)454-5548 FAX.(053)456-3316

[email] hamamatsukita-h@edu.pref.shizuoka.jp  
<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/hamamatsukita-h1/home.nsf>

### ■ JR浜松駅から約2.7km

○自転車で約15分

○バスで約15分

バスターミナル(1・15・16番)  
より乗車、『浜松北高』下車。

